立命館アジア太平洋大学　SGUのロジックモデル

インプット（SGU予算）

- 物品費
  設備備品費
  教務システムの導入
  消耗品等
- 人件費
  プログラムコーディネーター
  高度専門職
  教職員給与
- 謝金費
  海外の協定大学からの招聘講師
- 旅費
  海外の大学連携に係る調査
  講師招聘旅費
  国際認証取得に係る調査
  海外大学とのネットワーキング
- その他
  外注費
  文書翻訳委託費
  会議通訳費
  パンフレット作成費

アクティビティ

- 連携先大学ベンチマーク、アフリカ、中南米、欧米、ロシア等地域戦略
- 交換留学・ダブルディグリープログラム、海外インターンシップの開拓
- 寮を活用したプログラムの開発
- AOL、ポートフォリオ、VALUE Rubrics 等の導入
  多文化FD/SDセンターの設置
- AACSB、EQUIS、AMBAの取得、維持
- 卒業生との協働開講授業、卒業生の下で行うインターンシップの開拓
- APU Governing Advisory Board の設置
- 高度専門職員の増員

アウトプット

- 海外重点校との教育研究連携、国際的ビジネス・スクール・アライアンス、国際アドミッション連携
- 多文化環境の協働学習100%実施、初年次学生100%参加の教育寮展開、
  多文化融合型 オナーズ・プログラム実施、日本人学生海外経験100%
  日英＋第3・4言語学習
- 学びの可視化、教職員の育成・高度化
- 国際認証取得と維持、世界中の卒業生が参画した教育展開
- 企業連携、卒業生連携、
  外部評価を活用したPDCAサイクル
- 大学執行部の国際流動性向上
  職員の国際通用性向上

初期アウトカム

- 圧倒的な多国籍・多文化環境を維持する
- 学生生活のプロセスに無数の成長の機会を提供する
- 「学生の学び合い」と「学習の動機付け」を重視した教育の展開を行う
- 世界の多様なステークホルダーの教育や大学運営への参画を実現する

中・長期アウトカム

- 国際的な教育研究、大学運営において世界で突出した評価 を獲得する。
- Global Learning 手法を開発し未来の大学のひとつのモデル として日本・世界に提起する

新指標：4つの100

初年次教育寮：100%
多文化協働学修授業実施率：100%
在学中の海外経験（日本人）：100%
留学生出身国・地域：100ヶ国・地域

Global Learning：大学教育の新しい地平を目指す

インパクト（建学の精神）

世界各国・地域から集う若者が、ともに人類共通の目標を目指す知的創造の場を創り、多文化社会において必要とされる知識・能力・態度を身に付ける教育を行う